

豪

雨被害以外にも、日本列島は、世界で発生する地震の約2割が起きるといわれる地震大国でもあります。

◆地震

6月18日(月)、大阪府北部を震源地とするマグニチュード6.1の地震が発生しました(大阪府北部地震)。大阪市北区など5つの市区で震度6弱を観測し、ブロック塀の崩落に巻き込まれたり、家具倒壊の下敷きになったりして、大阪府内で5名の方が亡くなりました。



大阪府北部地震直後に水道管が破裂した道路(関西大学提供)

南海トラフ地震の発生確率

2月9日(金)、政府の地震調査委員会は、「南海トラフ地震が今後30年以内に発生する確率」が、これまでの「70%程度」から「70%~80%」に高まったと発表しました。

南海トラフ地震に関連する情報

気象庁は、昨年11月1日より、従来の「東海地震予知情報」に変わって、新たに「南海トラフ地震に関連する情報」の発表と運用を開始しました。この情報には、「定例」と「臨時」の2種類があり、この内「普段と比べて巨大地震が起きる可能性が高まった」と評価された場合などに「臨時」

東海地震予知宣言



情報の種類	情報の発表条件
南海トラフ地震に関連する情報(定例)	「南海トラフ地震」に関する定期的な報告
南海トラフ地震に関連する情報(臨時)	<ul style="list-style-type: none"> ・マグニチュード7.0以上の地震が発生 ・マグニチュード6.0以上の地震が発生し、特異な変化を観測 ・「ひずみ計」に有意な変化を観測 ・プレート境界に「すべり」を推定

の情報が発表されます。この情報は「予知」ではなく、あくまで「普段と比べて巨大地震の発生の可能性が高まっている」ことなどを伝えるものです。

この情報が発表されたときは、テレビやラジオから正確な情報を確認し、落ち着いて行動するよう心掛けてください。

◆いつか来る災害に備えて

地球温暖化を原因とする異常気象により、巨大な台風、局地的な豪雨が発生したり、南海トラフ地震発生確率が高まったりしている昨今において、いつか本市でも大きな災害が発生するかもしれません。

自分や家族の命を守るために、今からでもできることをしましょう！

災害に巻き込まれないために、本市からの情報を確実に受け取れる安心安全ほっとメールの登録を行いましょう。また日頃から非常持出袋の準備、中身の確認も忘れずに行いましょう。

なお、災害時に役立つ防災・減災お役立ちガイドを市HPなどで公開していますので、ご利用ください。

● 正確な情報の入手

(安心安全ほっとメールの登録)



登録用QRコード
(空メールを送信)

● 非常持出品の点検・確認



● 防災・減災お役立ちガイド



ダウンロード用
QRコード

本市では、昭和56年5月以前に建築された木造住宅の無料耐震診断を行っています。必要に応じて受診を行い、耐震改修をしましょう。また、倒れやすい家具・冷蔵庫なども必ず固定するように心掛けましょう。

この他、倒壊危険のあるブロック塀等の点検、撤去や改修も忘れずに行いましょう。

▼ 防災対策課

☎ 2333548

FAX 2301800

✉ saigai@city.tahara.aichi.jp